

生活福祉科（課題研究）学習指導案

授業者 教諭 等々力 守

- 1 日 時 令和5年10月11日（水）2～3限（9:55～11:45）
- 2 クラス 3年E組13名（男子2名、女子11名）（高齢分野選択者）
- 3 場 所 会議室
- 4 使用教材 BYOD（スマートフォンやタブレット）
プリントNo.20「第2回スマホカフェ」
- 5 単 元 地域福祉探究～実践Ⅱ（スマホカフェ全3回）～
- 6 単元目標 自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題に対して、社会探究活動を組み込んだ課題研究に取り組み、学習活動の振り返りを繰り返すことを通して、他者と協働し、多様な価値観を受容する態度を育む。

7 単元の評価基準

<単元の評価規準>

知識・技術	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
高齢者福祉について体系的・系統的に理解しているとともに、相互に関連する技術を身につけている。	高齢者福祉に関する課題を発見し、職業人に究められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、高齢者福祉の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

<単元の評価規準を具体化>

知識・技術	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者への支援の意義や目的を理解している。 ・高齢者の支援者としての姿勢を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活の課題に対する支援方法について考え工夫している。 ・高齢者の生活習慣や価値観などの個性から、その人らしく生きるための支援方法についての課題を発見し、創造的に解決を図ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や家族の支援について自ら学んでいる。 ・主体的かつ協働的に解決に取り組んでいる。

<ルーブリック評価>

評価	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
A	高齢者支援に関する知識や技術を十分身に付けている。	高齢者の生活の課題を発見し、個性性に配慮しながら、合理的かつ創造的に解決を図っている。	高齢者や家族の支援について、主体的かつ協働的に学び、粘り強く課題の解決に向けて取り組んでいる。
B	高齢者支援に関する知識や技術をおおむね身に付けている。	高齢者の生活の課題を発見し、個性性に配慮しながら、おおむね合理的かつ創造的に解決を図っている。	高齢者や家族の支援について、主体的かつ協働的に学び、おおむね課題の解決に向けて取り組んでいる。
C	高齢者支援に関する知識や技術を身につけることに取り組むことができる。	高齢者の生活の課題を発見し、解決を図っている。	高齢者や家族の支援について、課題の解決に向けて取り組んでいる。

8 単元の指導計画 実践Ⅱ（スマホカフェ）（全15時間）

- ・第1回スマホカフェ準備・実践・反省会（5時間）
- ・第2回スマホカフェ準備（2時間）
- ・第2回スマホカフェ実践（2時間）本時
- ・第2回スマホカフェ反省会（1時間）
- ・第3回スマホカフェ準備・実践・反省会（5時間）

- 9 本時の目標 ①前時までに見つけた高齢者のスマホ使用の課題に対しての解決方法を、本実践において、高齢者にわかりやすく伝えることができる。（思考、判断、表現）
- ②自ら学ぶだけでなく、仲間や地域の専門職と協働的に解決に取り組むことができる。
（主体的に学習に取り組む態度）

10 本時の指導計画【100分】

過程	時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点		
					知	思	主
導入	5分	・本時の説明	・本時の内容と目標、評価を確認する。	・授業プリントを配布し、内容・目標・評価を伝える。			
展開	85分	(1)お出迎え (2)開会式 (3)レクチャータイム (4)発表 (5)アンケート (6)閉会式 (7)お見送り	・参加者を迎え、席へ誘導し飲み物を提供する。 ・あいさつをする。 （ウェルカム動画披露） ・メニュー表に沿って、グループ毎に、スマホの使い方をレクチャーする。必要に応じて、個別の質問に対しても対応する。 ・電子黒板にスマホ画面を投影し、レクチャーした内容や感想を発表する。 ・参加者に QR コードを読み取ってもらいアンケート入力をしていただく。 ・お礼のあいさつをする。 ・参加者を見送る。	・参加者が開会を待つ時間にも会話等コミュニケーションをとるよう促す。 ・短時間で簡潔に行うよう伝える。 ・レクチャーの様子を観察し、机間巡視を行い、必要があれば助言する。 ・アプリや写真を用いて説明するよう伝える。 ・操作方法を丁寧にレクチャーするよう伝える。 ・簡潔に発表するよう伝える。 ・丁寧に進行よう促す。		[A]	[B]
まとめ	10分	(1)スタッフ振り返り (2)Forms 入力 （本日の感想） (3)ドキュメント入力 （自己評価シート） (4)まとめ	・参加者のアンケート結果をスタッフ全員で共有する。 ・本日の感想を Forms へ入力する。 ・振り返りをドキュメントに <input type="text"/> 入力する。 ・次時の学習内容を知る。	・地域包括支援センター様より気づいたことを伝えていただく。 ・QRコードを読み取り、特に気づいた点や次回に向けての課題を入力させる。 ・写真を添付して <input type="text"/> 入力するよう伝える。 ・次時は、スマホカフェの振り返りをする <input type="text"/> ことを伝える。		[A]	[B]

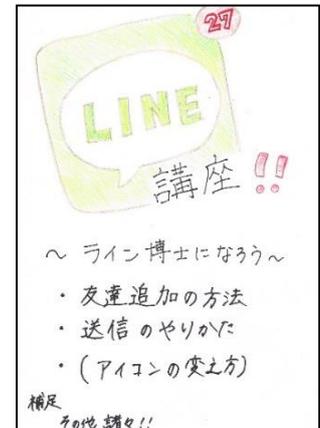
<学習評価について>

本時は、主に「思考力・判断力・表現力」を、高齢者のスマホ使用の課題に対しての解決方法を考え、仲間や専門職と協働しながら、高齢者にわかりやすく伝えられることができるかを評価した。レクチャータイムの行動観察やドキュメントによる振り返り、レジュメの作成や活用など多角的な観点による評価を行った。

結果として、評価「A」が10名、「B」が3名、「C」はなしであった。

生徒A 評価「A」

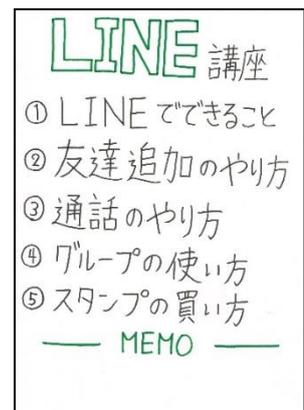
10月11日(水) 2. 3. 4限目	
内容及び感想や気づき	今日の1枚
<p>今日は、二回目のスマホカフェでした。前回の反省点を改善して、行うことができました。</p> <p>画像の入口の看板は好評で、前は入り口を間違えてしまう方が多くいましたが、今回はゼロ人でした。集合時間も早くしたことで、余裕のある始まりになり良かったと思います。</p> <p>内容についても、テーマごと順序通りに進めることでスムーズに進めることができ、前よりも簡単にできたと思います。思ったよりも時間がかかってしまいましたが、すべての項目をクリアすることができました。</p>	



グループで協力をして課題解決に向けての実践を行うことができていた。また、電子黒板を有効活用し、視覚的にわかりやすく伝える工夫が見られた。

生徒B 評価「A」

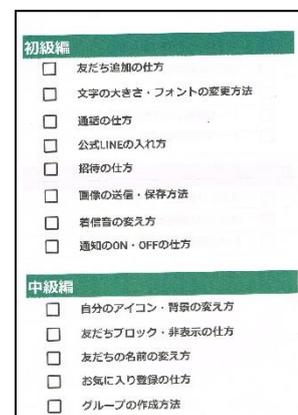
10月11日(水) 2・3限目	
内容及び感想や気づき	今日の1枚
<p>今日は第二回スマホカフェの日でした。前回と同じ方とマンツーマンでライン講座をしました。前回やったときよりタイピングが早くなっていたりスマホの扱いが上手になっていて驚きました。次回で最終回となってしまうかもしれませんが今までやってきたことの総編集ということで全力で講義できるようにしたいです。</p>	



スワイプをする指をゆっくりと動かしたり、わかりやすい用語を選んで説明を行ったり、課題解決に向けて工夫をしながら伝えることができていた。

生徒C 評価「A」

10月11日(水) 2, 3, 4限目	
内容及び感想や気づき	今日の1枚
<p>・スマホカフェ実践</p> <p>今日はスマホカフェ当日でした。教えることをあらかじめピックアップしてたので、対策が出来たので良かった。時間が足りず初級の途中で終わってしまったり、全体で教えたり個々で教えたりの区別が出来なかったりしたのが残念だった。次は、ここまで進めたら分からないところを個別で教えるなどして時間を有効活用出来るようにしたいです。</p>	



できた項目ごとにチェックが付けられるレジュメの工夫があり、高齢者の方からも「わかりやすい」という声が上がっていた。グループで協働しながら、課題解決に向かっていた。